

# おやま 市議会だより



第275号

## ●主な内容

### 平成27年度一般会計補正予算 1億8333万8千円を可決

主な議案とその内容……………②	市政一般質問……………⑥～⑩
陳情……………②	議会日誌……………⑪
人事案件……………②	議会報告会の報告……………⑪
議員提出議案……………②～③	次会定例会の予定……………⑪
審議結果……………③～④	行政視察報告……………⑫
委員会報告……………③～⑥	

平成 28 年 2 月 1 日号



1月4日に移転新築オープンした新小山市市民病院

小山市議会

編集 議会広報委員会

# 12月

## 定例会のあらまし

平成27年11月26日～12月18日

平成27年第5回(12月)定例会は、11月26日～12月18日までの23日間の会期で開かれました。本定例会では、平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定をはじめ、平成27年度一般会計補正予算案、条例の制定および一部改正案などについて審議しました。

11月26日、会議の冒頭、動議により角田良博議員に対する辞職勧告決議が提出され、賛成多数で可決されました。また、9月定例会で継続審査となっていた平成26年度一般会計歳入歳出決算を認定し、その後、市長から市政一般および近況について報告が

ありました。続いて議案29件、報告1件が上程され、提案理由の説明を受けた後、議案3件を即決しました。

11月30日～12月3日は、17人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

3日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、12月7日～11日に各委員会がそれぞれ開かれ、審査を行いました。

12月18日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案26件を可決、陳情4件を不採択とし、定例会を閉会しました。

### 主な議案

12月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆平成27年度小山市一般会計補正予算(第4号)——歳入

歳出それぞれ1億8333万8000円の増額補正。主な

歳出内訳は、関東・東北豪雨による農業災害対策事業費、

ロプレビル活用推進事業費、認定こども園等施設型給付事

業費、民間保育所入所委託料、障がい者介護給付費、生活保

護扶助費など。これにより、補正後の予算総額は、634

億7708万2000円。

◆小山市奨学金貸与条例の一部改正——貸与型奨学金制度

に、新たに卒業後一定期間市内に定住することで奨学金の

返還を免除することができ、免除型奨学金制度(おやまふるさとみらい奨学金)を導入することに伴い、所要の改正をするもの。

(施行日)公布の日から施行し、平成28年4月1日から適用。

◆財産の貸付け——イズミヤ株から平成27年12月1日に無償譲渡を受ける予定であるロ

プレビルの同社所有財産のうち、建物について普通財産として小山市開発株に貸し付

けるため提案するもの。

①貸付期間 平成27年12月1日から満5年間 ②貸付面積

1万6622・18㎡ ③貸付金額 月額500円/貸付

面積(坪)とする。ただし、ロプレビルのリニューアルオ

ーブンまでは無償とする。

◆飯田踏切道拡幅その他工事業務委託協定の一部変更——

平成26年6月に締結した同業務委託協定について、労務単価の高騰、施工方法の変更、地下埋設物による新設管の増工により、委託金額および委託期間を変更するため提案するもの。



飯田踏切

### 陳情

12月定例会では、閉会中の継続審査となっていた4件について審査しました。

その結果、4件を不採択としました。

継続審査に付されていたもの

陳情 4件

●「安全保障関連法案の徹底審議と国民への十分な説明を求める意見書」の提出を求める陳情書

▽審査結果 不採択

●特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める陳情

▽審査結果 不採択

●国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立を求める陳情

情

### 人事案件

▽審査結果 不採択

●「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情

▽審査結果 不採択

◆人権擁護委員候補者の推薦

小山市駅南町1丁目12番1号

古川 勉 (再任)

昭和29年7月6日生

小山市大字延島1670番地

石川 弘 (再任)

昭和26年7月15日生

小山市大字北飯田270番地

梅山 恵子 (新任)

昭和29年9月19日生

小山市大字南和泉559番地

日向野 貞二 (新任)

昭和31年3月25日生

小山市大字小袋586番地

栗原 千早 (新任)

昭和31年3月31日生

小山市大字栗宮1096番地

山中 博美 (新任)

昭和26年12月2日生

### 議員提出議案

定例会初日、山野井孝議員からの動議が成立し、角田良

## 平成27年第5回定例会（12月）審議結果

### 議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
<b>決 算（継続審査に付されていたもの）</b>			
議案第68号	平成26年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数
<b>補正予算</b>			
議案第99号	平成27年度小山市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	賛成多数
議案第100号	平成27年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第101号	平成27年度小山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第102号	平成27年度小山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第103号	平成27年度小山市小山第四工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第104号	平成27年度小山市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
<b>条 例</b>			
議案第105号	小山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	原案可決	賛成多数
議案第106号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第107号	小山市税条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第108号	小山市奨学金貸与条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第109号	小山市学童保育館条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第110号	小山市勤労青少年ホーム条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第111号	小山勤労者体育センター管理条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第112号	新小山市市民病院建設基金条例の廃止について	原案可決	全会一致
<b>その他の議案</b>			
議案第113号	財産の貸付けについて	原案可決	賛成多数
議案第114号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第115号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第116号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第117号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第118号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致

**決算審査**

▼平成26年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定について  
本議案は、9月議会に提出され、委員会において決算の全体概要、執行状況および主な事業の概要等について説明を受けた後、閉会中の継続審査となっていました。決算審査特別委員会は10月15日、16日に開催し、慎重に審査を行い、原案の認定を可と決しました。

637億2458万100

**委員会審査から**

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ています。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

博議員に対する辞職勧告決議が提出されました。審議の結果、原案どおり可決しました。

◆角田良博議員に対する辞職勧告決議——角田良博議員は、9月議会最終日に、同議員に対する辞職勧告決議が賛成多数で可決されたにもかかわらず、この議決結果を無視し、議員活動を続けている。県道拡幅工事で用地の明け渡しを約7年間行わなかった件、副

0円のうち25億8883万6000円を次年度に繰り越し、決算額は歳入が612億3061万8000円（前年度比1・8%減）で収入率96・1%、歳出が581億9279万7000円（前年度比2・9%減）で執行率91・3%となりました。

委員会では、事業に対する実績およびその評価結果、進捗状況などについての質疑・意見・要望等が委員から出されました。

以下、主な質疑を紹介します。

議長という立場を利用した女性職員へのセクハラ・パワハラ疑惑の件、議員辞職勧告決議の議決結果を無視した行為に対して、市議会として厳しい態度を示さなければならぬ。よって、角田良博議員は、議員として自らの責任を重く受け止め、自らの意思により、速やかに役職辞任はもちろんのこと、議員辞職をするよう強く求めるもの。



の渋井地区約400mの区間に50本を植樹し整備する予定です。来年度は、網戸と中間の間約900mの区間の整備を予定しています。



網戸地内に整備中の桜堤

問 建築確認申請を市、もしくは民間確認検査機関に提出することとなっているが、その割合と、チェック項目の相違は。

答 市と民間確認検査機関への申請件数の割合は、現在のところ市が約25%、民間確認検査機関が約75%です。また、チェック項目については、市も民間確認検査機関も同じ法律・同じ基準で審査していますので相違はありません。

問 構造計算適合性判定手数料の内容は。

答 大型物件等の構造計算は、第三者機関で構造の適合性の判定をすることとなっています。この額は市が申請を受けた建築確認について、平成26

年度中にその第三者機関に構造の適合性判定の依頼をしたことにより、支払った手数料です。

### 総務



▼**小山市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について**

問 条例に基づき、個人番号や特定個人情報等を庁内で連携する際の職員に対する指導や教育の方法は。

答 関係業務に携わる職員に対し、12月9日に研修会を開催しました。特に窓口においては、各種の申請書等に個人番号等を記載する機会が増加するため、取り扱いについての注意喚起をしたところです。

▼**建設工事請負契約の一部変更について**

問 今回のインフラスライド条項の適用は、いつの時点での建設単価の改定を受けてのものなのか。

答 桑地区中心施設建設工事は平成26年9月に工事請負契約を締結しましたが、それは平成26年2月の建設単価で設計したものでした。その後、平成27年2月に建設単価の改定があったため、今回は、そ

の改定を踏まえ、契約を一部変更しようとするものです。

▼**財産の処分について**

問 小山第四工業団地売却の相手方が東拓工業株式会社になった経緯は。

答 本年度、小山第四工業団地の予約分譲の申請受付を行ったところ、2社から申請がありました。それを受け、企業誘致調査委員会を開催し協議したところ、小山第四工業団地の全3区画を希望し、かつ小山市民の新規雇用を予定している東拓工業株式会社に決定し、12月7日に仮契約を行ったところです。

### 民生



売却が決まった小山第四工業団地

▼**平成27年度小山市国民健康保険特別会計(事業勘定) 補正予算(第1号)**

問 一般管理費において委託

料153万9000円の増額補正の理由は。

答 この増額は、レセプト点検業務を1月から国保連合会に業務委託するためのものです。これまで、専門知識を有する臨時職員4名が業務を行ってきましたが、10月に2名、11月に2名が退職したためです。

▼**小山市学童保育館条例の一部改正について**

問 学童保育館の今後の整備予定は。

答 来年度、大谷東小第三学童保育館の整備を計画しています。その後は、子ども・子育て支援事業計画の中で児童数を見込み計画しており、民設による整備も検討していきます。

### 教育経済



▼**平成27年度小山市小山第四工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)**

問 小山第四工業団地で用地の売買契約が成立となった場合の補助制度は。

答 小山第四工業団地の全3区画については、大阪市に本社のある東拓工業に売却するという

の処分について、議案を提出しています。今回該当する優遇制度については、工場等

新設した場合に固定資産税相当額を3年分交付する「工業振興奨励金」、工業団地の用地取得から5年以内に操業開始となった場合に、取得価格に助成する「土地取得助成金」、市民を新規雇用とした場合に対象被雇用者1名につき10万円を交付する「企業立地雇用促進奨励金」があります。

▼**小山市奨学金貸与条例の一部改正について**

問 今回導入される免除型奨学金制度(おやまふるさとみらい奨学金)の返還の免除規定は。

答 返還の免除については、条例において、卒業後6カ月間市内に居住し、その後も教育委員会が定める期間、市内居住を継続したときとしており、この教育委員会の定める期間は、条例の施行規則において、在学した学校の正規の修業期間の2倍の期間と規定しています。この要件に該当した場合で、ボランティア活動への参加状況や学業成績を勘案し、奨学金の全部または一部の返還を免除することと

してきます。

▼指定管理者の指定について  
(小山市まちの駅)

問 まちの駅でのレンタサイクルの利用状況は。

答 市内の観光や、仕事で市内にいられた方の利用もあります。今後は、さらに利便性を充実させるため、まちの駅以外の場所でも貸出・返却ができるような運用も検討しています。

建設水道



▼市道路線の認定及び廃止について

問 廃止路線の内容は。

答 廃止される市道2464号線は、墓園やすらぎの森の南側で、現在、工業振興課で開発を行っている小山東部工業団地第二工区の中にあります。今回はこの市道を廃止し、工業団地の整備後、改めて団地内にできる道路を追加認定する予定です。

▼飯田踏切道拡幅その他工業業務委託協定の一部変更について

問 工事の終了はいつごろになるのか。

答 JRの計画では、平成28年3月13日から7回に分けて

夜間工事を行い、6月1日までに踏切内の工事を終了し、舗装の取り付け等付帯工事も含めて6月いっぱい完了する予定です。なお、その間のうち、5月2日から5月5日は、昼間も歩行者、自転車以外は全面通行止めで工事を行う予定です。

予算審査



▼平成27年度小山市一般会計補正予算(第4号)

問 絹中学校区小中一貫校渡り廊下整備工事の概要と工事の実施時期は。

答 工事は現在の福良小学校から絹中学校をつなぐ総延長約60mの渡り廊下を整備する工事ですが、学校生活になるべく影響がないよう到来年度の夏休みに工事を行うため、今回、工事の設計を債務負担行為として計上するものです。

問 地域住民生活等緊急支援のための交付金事業の詳細は。

答 国の交付金を活用し本場結城紬情報発信センターをロブレビル1階に設置するものです。施設は、床面積が約56坪、歴史・生産工程紹介コーナー、実演コーナー、体験コーナー等で構成し、設置にか

市政メモ

※1 ケアパス

認知症を発症したときから、生活機能障がいのある進行状況にあわせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのかをあらかじめ標

準的に決めておくこと。それにより、認知症の人やその家族が安心できることなどが期待される。

かる経費は4000万円の予算のうち、2000万円を現在見込んでいます。

問 城山町二丁目第一地区市街地再開発事業費を増額する理由と今後のスケジュールは。

答 今回の増額補正は、平成28年度に行う予定であった事

業計画作成業務と建築基本設計等を本年度実施するためのものであり、今後スケジュールを前倒し、平成28年12月に組合の設立を目指し、平成29年度に権利変換計画の作成、平成30年度に工事に着手する予定です。

業計画作成業務と建築基本設計等を本年度実施するためのものであり、今後スケジュールを前倒し、平成28年12月に組合の設立を目指し、平成29年度に権利変換計画の作成、平成30年度に工事に着手する予定です。

市政を問う

12月定例会市政一般質問

11月30日、12月1日、2日、3日に、17人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

防災計画の見直し

石島 政己

問 9月の豪雨災害を教訓に災害対策についての検証を行い防災計画の見直しを行う必要があると思うが考えを伺う。

市長 小山市地域防災計画の見直しについては、今回の災害を踏まえ、内水を対象とした避難発令基準の見直しや、避難情報などの伝達方法として、従来の消防団車両による広報に加え、小山市安全安心メールによる災害情報配信、小山市ホームページ、テレビ小山L字放送やNHKデータ放送、緊急メールによる配信を行い、自治会や自主防災会および市の出張所との

連絡には専従の職員を配置した連絡体制を強化するなど、市防災会議幹事会の実証結果をもとに見直しを図り、災害対応の強化に努めます。

問 絹中学校区3小学校の統廃合と小中一貫校への移行に向けて、地元関係者の意見要望を受けた対応と対策を望む。

教育部長 昨年度から小中一貫校(絹中学校)推進委員会を設置し、小中一貫校への移行について協議を重ねるとともに、アンケート調査や保護者、自治会説明会を開催し、地域の意見や要望を反映し、小中一貫校(絹中学校)施設整備等に関する基本計画としてまとめ、平成27年3月に教育委員会へ提出し、市として正式決定しました。計画の中では、小中一貫校に適した施設づくり、安心安全に通学できる環境づくり、地域の意見を反映する体制づくりが示さ

れ、これを基に推進委員会においてさまざまな検討を進めています。



3小学校の統合校となる福良小学校

### 市庁舎の整備

青木 美智子

問 51年経て建物も設備も老朽化した庁舎を耐震化しても、市民サービスの低下を招いている庁舎の分散化、会議室不足等は解消できない。効率的な行政運営をどう図るか。  
総合政策部長 現在本庁舎周辺で6カ所に分散しています。神鳥谷庁舎や分室3については、市民の来庁が少ない部署を配置するなどして、市民サービスの低下を最小限に抑えています。会議室が不足していることについては、組織改編に伴う配置がえ等に合わせ空きスペースを確保し、そこを会議室にするなどの対策を講じています。

### 城東保育所

問 城東保育所は駅に近く利便性が良いため保育の需要が高く地域の発展には欠かせない保育所である、廃止に対し存続を求める声強いが。

副市長 ビル内に認可保育園整備を予定していた駅東通り一丁目第一地区市街地整備事業の建設工事が半年から2年延期されることから、保育所の統合年次を見直す必要が生じました。また、統合先の城北保育所が、一部増築により改修できる見通しが立ったため、城東保育所を閉じて仮園舎とする必要がなくなりました。これらのことから、城東保育所は、平成31年度の開園を目前に、現在の場所での規模を縮小し民設民営とする方向性となりました。また、保護者からの要望について、子ども・子育て会議に諮り、民営化に向けて取り組んでいきます。

### 県立温水プール館の利用料

荒川 美代子

問 県立温水プール館の高齢者の利用料を減額して、経済的支援をすべきでは。

教育部長 近年、高齢化が進行し、生涯を通じて健康で明るく生きがいのある生活を送るためにもスポーツは必要不可欠であり、その中で水泳は、誰もが気軽にできるスポーツとして広く親しまれています。高齢者の利用料金減額については、現在、新券売機を設置することに伴い、市内在住・在勤の65歳以上の方に対し、10回分の料金で12回利用可能となる回数券を発行することおよび、普通利用料の610円を1割減額となる540円とすることを、県に申請をしているところですが。



県立温水プール館

### 女性主体の防災訓練

問 防災・減災の対策のために女性が主体の防災訓練を行うべきと思うが。

危機管理監 小山市女性防火クラブ連合会が消火器の取扱い講習会と消火実技競技会を毎年実施しており、今年で29

回目の開催となりますが、この訓練は消火に限定した訓練です。災害発生時には、男女の限定なく、地域での助け合いが必要となるので、防災訓練で多くの女性に防災の知識を習得・体験してもらいたいと考えています。今後、自主防災会連絡協議会と連携し女性の地域における防災リーダー育成に取り組むとともに、来年度6月に実施予定の小山

### 小中学校のトイレ

大出 ハマ

問 各小中学校トイレ問題、トイレの洋式化が進む中、和式に慣れない子ども達等への対応を伺う。

教育部長 小中学校トイレの洋式便器数は、小学校校舎で24%程度、中学校校舎で22%程度です。これからのトイレ改修については、一般家庭の洋式便器の普及状況を踏まえ洋式化を最優先に進めたいと考えています。また、体の障がい等で和式トイレが使えない児童生徒への対応については、学校からの事前相談により、洋式への改修やスロープ

設置など個別に対応していますが、けがなどで緊急かつ短期的な場合には簡易設置の洋式便座などにより対応しています。

### 認知症対策

問 高齢者対策について、高齢化が進む中、認知症対策について伺う。

保健福祉部長 認知症になっても安心して暮らし続けられる街を目指し認知症総合支援事業を実施しています。認知症サポーターは6903人おり、12月には中学生向けの講座を実施予定です。平成24年から毎年1回認知症予防講演会も実施しています。徘徊等の症状がある方へ位置検索機器を貸与しており、来年度からGPS機能付の靴の貸与も検討しています。また、行方不明の方の発見について警察と連携しメール配信等行っていますが、さらにコンビニ等と連携し支援する認知症徘徊高齢者SOSネットワーク事業の実施準備をしています。このほか、認知症の状態に合わせた医療・介護サービス等の支援を示すケアパスを作成しています。

まち・ひと・しごと創生総合戦略  
山野井 孝

問 まち・ひと・しごと創生法に基づき策定した小山市の総合戦略について、策定に至った経緯・考え方を伺う。

市長 小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口流出を食い止め、将来にわたって活力ある社会を維持するため、雇用の創出や人の流れの創出、若年層の希望の実現、持続可能な地域づくりという4つの基本目標を設定しました。この目標は、国のまち・ひと・しごと創生法に基づく地方創生の取組効果を最大限発揮するためには、国や県と連動した取り組みを行う必要があると考え、国・県の目標と同様に設定しています。

開運商品券・子育て応援商品券

問 今年の開運小山市共通商品券のプレミアム率について、共通商品券20%、子育て応援商品券30%となった経緯を伺う。

経済部長 国の経済対策のための地域住民生活等緊急支援のための交付金を、プレミア

ム付き商品券に活用することとし、人口比や財政状況等で配分された金額に基づき事業計画を策定しました。プレミアム率については、小山商工会議所・市内の三商工会・小山市で構成する小山市共通商品券発行事業実行委員会において協議し、開運小山市共通商品券を例年の倍の20%、開運小山市子育て応援商品券を子育て支援の観点から30%としました。

ジャガマイタ

小林 英恵

問 問々田の奇祭「ジャガマイタ」の国重要無形民俗文化財指定の動向について伺う。

市長 重要無形民俗文化財指定に向けて、何度も国、県に對し要望活動を行ってまいりました。これを受け、9月27日には文化庁より調査官が来市し、国庫補助による詳細な調査事業を実施し、報告書を作成する必要がありますとの指導がありました。その後、国庫補助の採択と来年度の調査体制の整備について、文化庁並びに県教育委員会と具体的な協議を重ねています。

思川豊田緑地整備

問 思川豊田緑地整備のスケジュールについて伺う。

都市整備部長 思川豊田緑地整備については、平成26年3月に整備計画を取りまとめました。本計画地内には、5筆、約0.6haの土地が未買収となっており、県とともに関係権利者と交渉を進めていますが、全ての同意を得るにはまだ時間を要するため、買収地を先行的に整備する段階的整備を検討しています。今年度は平成26年に実施した平面測量に加え、土地の高低を測る縦横断面測量を実施しました。今後、平成28年度に基本設計および自然環境調査、平成29年度に実施設計を行い、平成30年度の工事着手を目指しています。

地方創生の基本方針

渡辺 一男

問 「<sup>※2</sup>小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したが、地方創生の基本方針について伺う。

市長 人口ビジョンにおける2060年(平成72年)の目標人口約15万1000人を確保するため、次代を担う心豊

かな「ひとを創る」、住みたい。住み続けたい「まちを創る」、安全・安心な「暮らしを創る」を基本理念とし、まち・ひと・しごと創生に係る政策の4つの基本目標(産業の振興による新たな雇用の創出、新しい人の流れの創出、結婚・出産・子育ての希望の実現、持続可能な地域づくり)および基本的方向、具体的な施策等を取りまとめました。これは、国と地方が一丸となって地方創生の実現を目指すものでもありません。

市道7号線整備

問 市道7号線は思川西部地区の重要路線であるが、現在の整備状況と今後のスケジュールを伺う。

建設水道部長 市道7号線黒本・島田工区の工事は、平成26年度から着手し、JR両毛線踏切の北、約250mにある水路付近から市道273号線までの区間が完成しています。本年度は市道273号線交差点から小山農協思川力ントリーエレベーター南側までの区間の改良工事を進めています。今後は、平成28・29年度に県道小山環状線交差点までの工事を行い、平成30

度に残りのJR両毛線踏切北側の区間の工事を行い、全線1400mが完成する予定です。



市道7号線

横倉第一雨水幹線整備

佐藤 忠博

問 関東・東北豪雨による、雨ヶ谷、横倉新田地区の被害状況と横倉第一雨水幹線の整備スケジュールは。

市長 今回の豪雨の際、雨水管整備最上流部の雨ヶ谷、横倉新田地区に土嚢1000袋を配置し対応しましたが、5戸が床上浸水、59戸が床下浸水に見舞われてしまいました。雨水幹線整備は平成28年度に工事に着手し、約6年での完成を目指していましたが、今回の被害を踏まえ、工期の短縮に最大限努力し、工程的に工事実施可能な4年での完成を目指したいと考えています。その間の浸水被害軽減を図る

ための、雨ヶ谷第二・第三調  
整池整備は本年度末の完成を  
予定しています。

### ヘルプカード

問 高齢者や障がい者が緊急  
時等に提示して、周囲の手助  
けをお願いしやすくする「ヘ  
ルプカード」の導入は。

保健福祉部長 ヘルプカード  
は全国の自治体に導入が広が  
ってきています。市としても  
大震災等の教訓として、障が  
い者や高齢者が緊急時や災害  
時等に、ヘルプカードにより  
本人に必要な支援の内容がわか  
るため、大変有用と考えま  
す。導入済みの自治体の状況  
を参考にしながら、現行のハ  
ートプラスマークカードとの  
比較などを行い、関係団体等  
と協議し、前向きに検討した  
いと考えています。

### 防災マニュアル 土方 美代

問 656ページにおよぶ小

山地域防災計画を読むのは大  
変である。一目でわかる防災  
マニュアルを作成できないか。  
危機管理監 家庭における防  
災プランとして、壁や冷蔵庫  
に貼付できる大きさの小山市  
家族防災プランの作成を計画  
しています。内容は、家族が  
日中過ごす場所である学校や  
仕事場の連絡先、避難する時  
の近くの避難所、長期避難に  
なる時の親戚や友人宅の連絡  
先、地震などで火事が発生し  
た時自宅にはどんな危険があ  
るかなど、家族で話し合った  
決め事を防災プランのシート  
に記入し、日頃から目につく  
場所に貼付して活用してい  
ただくことを考えています。

### 苦情処理の専門部署

問 行政に対する市民の不満  
や苦情の窓口を一本化し、し  
っかりと受け止める専門部署  
を創設できないか。

総務部長 クレーム・苦情処  
理の専門部署の創設について

は、他市の先行事例を調査研  
究するとともに、市役所の各  
窓口におけるクレームや苦情  
処理の状況などを把握し、概  
ね1年程度で検討していきま  
す。

### 幼児教育の無償化 渡邊 一郎

問 人口減少対策として、幼  
児教育の無償化について、平  
成28年度の小山市の取り組み  
は。

保健福祉部長 平成25年に国  
では、幼児教育の無償化につ  
いて検討していましたが、そ  
の後、消費税増税の見送り等  
もあり、現在まで無償化の進  
展はないところです。そのよ  
うな中で、栃木県において、  
来年度から第3子以降保育料  
免除事業として、現行では保  
育園に通う3歳未満としてい  
た年齢を、今後未就学児まで  
拡大するとともに、幼稚園に  
通う児童に対しても実施して  
いきたいとの方針が打ち出さ  
れています。

れたため、県と歩調を合わせ  
て実施できるよう検討してい  
るところです。

### ウォーキングコース整備

問 健康寿命の促進のため、  
問々田八幡公園にウォーキン  
グコースの整備は。

都市整備部長 問々田八幡公  
園については、今年度大型パ  
スも止められる駐車場整備と  
不要な樹木の伐採等により、  
明るい公園にすることを目指  
して整備構想策定の準備を進  
めているところです。進行し  
ている高齢化社会への対応や  
健康増進を図る意味でも、整  
備構想策定の中で、ウォーキ  
ングコースの案内看板や立て  
看板、距離表示を設置する等  
遊歩道を歩きやすいように再  
整備するための検討を行って  
いきたいと考えています。

### 個人質問 (質問順)

#### 五輪事前キャンプ地誘致活動

生井 貞夫

問 東京オリンピック・パラ  
リンピック事前キャンプ地誘  
致活動について、市体育協会、  
商工会議所等と官民一体で取  
り組んでは。

教育部長 誘致成功の鍵は、  
官民一体となった推進体制の  
整備と考えています。そのた  
め、市においても、体育協会、  
商工会議所、観光協会、大学  
などを取り込み、官民一体と  
なった組織だった誘致活動を  
したいと考え、競技者はもち  
ろん、観客の方へのおもてな  
しも含めてオール小山での誘  
致活動を推進する組織を編成  
すべく現在検討中です。今後  
は、早急に組織を立ち上げオ  
ール小山での誘致推進体制を  
構築していきます。

#### 思川西部土地画整理事業 石川 正雄

問 思川西部土地画整理事  
業の事業計画について問う。

都市整備部長 思川西部地区  
では、組合施行による土地画  
整理事業を、面積20・5ha、  
総事業費約29億1000万円、  
計画人口900人として、平  
成30年度末の完了を目指し、  
民間活力により進めています。  
本事業は、第5次および第6  
次小山市総合計画に位置づけ  
られ、平成20年から地元自治  
会を中心に勉強会を重ねた結  
果、平成24年1月に組合設立  
準備会が結成されました。そ  
の後、組合員約90%の同意を

市政  
一口メモ

※2 小山市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略  
国・県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」  
と連動し、人口の減少に歯止めをかけるこ  
とにも、東京圏への過度の人口集中を是正し、

将来にわたって活力ある社会を維持するた  
め、平成27年度から平成31年度までの5年  
間を計画期間として、本市の実情に応じた  
まち・ひと・しごと創生に関する施策につ  
いて定める基本的な計画。

得て、平成25年10月に組合設立認可申請、平成26年1月31日に県知事認可、2月7日に公告をもって組合が設立されました。



施工中の思川西部土地区画整理事業

### 行政文書などの電子化

安藤 良子

問 行政文書などの電子化について、現状とその管理体制、保存文書対応はどうなっているか。

総務部長 行政文書は、小山市文書取扱規程に基づき、各課で現年度分と前年度分の2力年を保管しています。それ以前の文書は、保存文書の基準により、永年、10年、5年、3年に区分けし、文書館分室で保存しています。文書の電子化については、平成19年1月から文書管理システムの運用を開始し、事務の簡素化、紙文書の減量化を図っています。保存年限を終了した

電子文書については、目録データを文書館へ送付しています。今後は、文書管理システムと文書館システムの情報の連携を図り、行政文書の公開を目指していきます。

### テクノパーク小山市南部工業団地

篠崎 佳之

問 テクノパーク小山市南部工業団地の事業内容と進捗状況について伺う。

経済部長 本事業は、塚崎・東野田地区県営経営体育成基盤整備事業により創出される非農用地と隣接する山林を買収し、全体面積約16haの工業団地を造成するもので、昨年度までに基礎調査および現況測量等が完了し、今年度は用地測量および基本計画策定、工業用地南側に設置予定の調整池の排水管理設工事を、県道の道路改良工事にあわせて実施しました。来年度は、買収予定地の鑑定評価、用地交渉、埋蔵文化財の試掘調査、地質調査のほか、関連法規に基づき諸手続きを進めていきます。その後、用地買収、自然環境調査、実施設計、開発許可等の手続き、造成工事を実施し、平成31年度の予約分譲を目標に計画的に事業を推



進みます。

### 浄水場の老朽化対策

植村 一

問 市内浄水場の老朽化対策をどのように進めていくのか。また、被害を受けた羽川西浄水場の災害対策は。

建設水道部長 市内の浄水場は、昭和35年給水開始の鶴島浄水場、46年開始の若木浄水場、59年開始の羽川西浄水場の3カ所、特に沈殿池、ろ浄水場では、特に沈殿池、ろ過池等の土木施設や管理棟などの建築物が老朽化しています。今後は、平成25年度策定の水道ビジョンに位置づけられる両浄水場の更新を計画的に実施していきます。今回被災した羽川西浄水場の災害対策については、総額約4億円の機械、電気設備の復旧工事と配水池に仕切り弁を設ける浸水対策工事を10月に発注し、12月末に完了予定で、災害対応力強化に努めていきます。



冠水時の羽川西浄水場

### 大行寺地区での治水対策

森田 晃吉

問 治水について、今後の対応について伺う。

市長 9月の関東・東北豪雨では、栃木県初の大雨特別警報が発令され、大行寺地区では、豊穂川や思川上流の小山排水路、立木排水路等が、思川の水位上昇により流出できず溢水し、983戸が床上、床下浸水に見舞われました。この甚大な被害を受け、樋門調整池、避難場所の設置など広範にわたる排水強化対策を、県知事に要望しました。また、大行寺地区の抜本的排水強化対策の検討については、国、県、

市、土地改良区、地元自治会等が一体となった小山市大規模浸水被害対策プロジェクトを立ち上げ、同地区の治水強化対策を推進していきます。

### 災害時の一時避難所

高橋 栄

問 住民に身近な街区公園や公民館、神社境内等を、災害時の一時避難場所としては、危機管理監 地域の安全確保の観点から、火災や地震などの災害において安全であることが避難場所として重要な条件となります。また、集まった人を受け入れるスペースが十分に確保できる規模であり、公園や神社の境内などより公共性の高い場所が望ましいと考えています。地域の安全対策の一つとして空地や広場を一時避難場所として指定し、安全確保を図っていききたいと考えています。なお、一時避難場所の指定は、市と協議しながら進めていきたいと考えています。

議会日誌

〔10月〕

▽15日 決算審査特別委員会

▽16日 決算審査特別委員会

▽22日 栃木県市議会議長会

▽23日 執行部との定例懇談

▽28日 小山駅周辺都市整備

〔11月〕

▽2日 議員説明会／議会報

告会運営委員会／小

山市・結城市議会議

員意見交換会

▽5日 会派代表者会議／議

会運営委員会／旧市

民病院施設活用等検

▽9日

討特別委員会

議会広報委員会／議

員説明会／議会報告

会全体会議・班会議

▽13日 議会報告会(間々田・

豊田・絹)

▽16日 議会報告会(小山城

南・小山東・桑)

▽20日 議会運営委員会／会

派代表者会議

▽26日 議会報告会運営委員

会派代表者会議

〔12月〕

▽3日 議会報告会運営委員

会

▽4日 議員研修会

▽7日 民生常任委員会

▽8日 教育経済常任委員会

▽9日 建設水道常任委員会

▽10日 総務常任委員会

▽11日 議会広報委員会／予

▽14日

算審査常任委員会／

旧市民病院施設活用

等検討特別委員会

▽16日 公共施設等整備調査

特別委員会

▽18日 会派代表者会議

▽18日 議会運営委員会／議

員説明会

▽18日 議会広報委員会



視察来訪

〔10月〕

▽27日 一宮市(愛知県) 8

名「新たな「おやま

ブランド」創生・発

信推進計画策定事業

議場見学

〔11月〕

▽12日 城南小学校・141

名／豊田北小学校・

14名

▽18日 小山第一小学校11名

議員研修会を開催

12月4日、メンタルサポ

トろうむの李怜香代表を講師

として招き、「セクシユアル

ハラスメント・パワーハラス

メント防止のために」を演題

として議員研修会を開催しま

した。



議員研修会の様子

第6回小山市議会報告会について

平成 27 年 11 月、第 6 回議会報告会を 6 会場で開催し、77 名の方に参加いただきました。

日時	会場	参加者
11月13日(金)	間々田市民交流センター	19名
	豊田公民館	14名
	絹公民館	9名
11月16日(月)	小山城南市民交流センター	12名
	小山東出張所	9名
	桑公民館	14名

〔主な内容〕

- ・報告事項  
平成27年第4回定例会(9月議会)の審議内容について
- ・質疑応答
- ・意見交換会  
小山駅周辺都市整備・公共施設等の整備、再編について

次回定例会の予定

2月17日(水)	本会議 (開会・議案上程)
2月19日(金)	本会議 (一般質問)
2月22日(月)	本会議 (一般質問)
2月23日(火)	本会議 (一般質問)
2月24日(水)	本会議 (一般質問・付託)
2月26日(金)	委員会
2月29日(月)	委員会
3月 1日(火)	委員会
3月 2日(水)	委員会
3月 3日(木)	委員会
3月 4日(金)	委員会
3月15日(火)	本会議 (採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

平成 27 年第 5 回定例会の傍聴者数

12月定例会の傍聴者数は、本会議79人でした。

{ 11月26日=2人・30日=23人・  
12月1日=22人・2日=23人・3日=8人・18日=1人 }

市議会議員野村広元氏逝去

市議会議員野村広元氏が、去る11月22日逝去されました。享年70歳。

故野村氏は、平成3年4月に市議会議員に初当選されました。以来、総務常任委員会副委員長をはじめ、議会運営委員会委員長、小山広域保健衛生組合議会議長、市議会副議長、市議会議長など要職を歴任されました。

ここに市議会議員一同、市民の皆様とともに謹んで哀悼の意を表します。



# 常任委員会の行政視察

## 建設水道

平成27年  
9月30日(水)～10月2日(金)

- 長崎県諫早市＝こどもの城について
- 佐賀県鹿島市＝鹿島ニューディール構想について
- 長崎県長崎市＝庁舎建設計画について

### ◆鹿島ニューディール構想について

構想のうち、「様々な施設の再整備」では、耐震補強や施設整備等を優先的に対応しなければならない公的施設を掲げている。中心市街地での公的施設再整備は、商業施設「ピオ」の空きスペースの活用などで、にぎわいを創出しようとするものである。市が一部を区分所有し整備した子育て支援施設は、市外からも多数の利用があり、リピーターも多いとのことである。

小山市では、ロプレビルのリニューアルに向けて集客を図る施設として、(仮称)キッズランドおやまを整備する予定であり、参考になる事例であった。



鹿島市を視察する建設水道常任委員会委員

## 総務

平成27年  
10月19日(月)～21日(水)

- 広島県尾道市＝広域連携防災システムについて
- 岡山県倉敷市＝公共施設白書(ファシリティマネジメントの推進)について
- 兵庫県川西市＝地域分権の推進に関する条例について

### ◆公共施設白書(ファシリティマネジメントの推進)について

倉敷市は公共施設等の更新の問題に際し、長期修繕計画室を設置しファシリティマネジメントを推進している。職員自らが建物等の現状を点検確認し、客観的に修繕の優先順位を決めるなど長期修繕の予算枠の設定を長期修繕計画室で行っている。また、研修会や説明会を行うことで市全体の意識改革を行っており、自治体間ネットワークの構築をするなど様々な取り組みを行っており、今後の公共施設の更新計画を推進するうえで参考になった。



倉敷市を視察する総務常任委員会委員

## 民生

平成27年  
10月19日(月)～21日(水)

- 大阪府池田市＝総合窓口業務と民間委託の取り組みについて
- 兵庫県小野市＝福祉給付制度適正化条例について
- 兵庫県明石市＝新あかし健康プラン21について

### ◆総合窓口業務と民間委託の取り組みについて

池田市では、市民満足度を高めるサービスを提供するため、平成21年5月に総合窓口を開設しているが、「市民課」を改称しての業務拡張ではなく、「総合窓口課」を新設して始まった。その後、平成23年7月には総合窓口の業務委託を開始している。総合窓口の開設、民間業務委託の実施により、職員の人員削減が図られ、人件費が年間で1,000万円以上削減されるような効果も得られており、安定した機能が発揮されている。今後も、更なる業務委託の拡大を検討中とのこと、順調に改革が進められていると感じられた。



池田市を視察する民生常任委員会委員

## 教育経済

平成27年  
10月27日(火)～29日(木)

- 宮崎県宮崎市＝みやPEC推進機構の取り組みについて
- 宮崎県都城市＝スポーツ拠点施設整備事業について
- 鹿児島県出水市＝読書活動の取り組みについて

### ◆スポーツ拠点施設整備事業について

都城市は多くの運動施設を所有しており、主な利用形態における小山市との相違点は宿泊やキャンプ地として利用されていることである。施設整備の方針については、防災拠点・後方支援拠点施設としての機能強化を目指すと同時に、全国的大会やキャンプ地の要望もあることから、スポーツ振興による地域経済の活性化を念頭に置き整備を推進している。第77回国民体育大会の開催会場の一つである早水公園と高城運動公園の現地視察も行った。市立体育館建設、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致活動等を進める小山市にとって、大変参考になる事例であった。



都城市を視察する教育経済常任委員会委員

毎日暖かかったり、寒くなったりです。風邪をひくにも原因があります。健康管理には十分お気を付けてください。

(岡田)

今年の冬は6年ぶりの暖冬になるようです。自然界が例年と異なることは、動植物にとって大変なことですが、長い年月を経て、環境に適応し少しずつ進化し、現在の生態系が出来上がりました。人の社会も日本内外で、情勢が変化していきます。地球にとって、人類にとって良い方向なら歓迎ですが、いろいろ難しいようです。自然界の異常も人類が原因をつくっていることが多いようです。何か問題があれば、必ず原因があるはずで、小山市も何かあれば、その原因を究明・解消して新しい小山市へとさらに発展していったほしいものです。



今年の冬は6年ぶりの暖冬になるようです。